

DX推進 3年目を迎えた OA化大賞 グランプリ決定！



現場主導のデジタルスキル向上を促進する取り組みとして「OA化大賞」を開催しています。
チームまたは個人で挑戦・開発した応募作品25作品の中から、業務に役立つツールや製品化の可能性を有する優れた4作品（最優秀賞・優秀賞・敢闘賞）を選出しました。

2025年度 OA化大賞結果発表		得点
1	【最優秀賞】 Xs-AS科目振替一括ア (CS1G CCBSチーム)	191
2	【優秀賞】 消込履歴まとめー 一般会計業務 (業務サービス大阪2チーム)	181
3	【敢闘賞】 入室申請システム (業務サービス大阪2チーム)	173
4	【敢闘賞】 Xs-AS不備メール 作成ツ (CS1G CCBSチーム)	166

生成AIなども活用し、EXCEL-VBA、PowerAutomate、Accessで独自に学び、実用的なツールを開発しています

スキルアップ 改善からカイゼンへ × 個の技から組織の力へ

当社では中期経営計画で掲げた目指す姿「カイゼンの専門家集団」の実現に向け、全社レベルでカイゼン力の底上げに取り組んでいます。1月に全国から選抜メンバー17名が集結し、業務改善の基礎と実践を体系的に学ぶ「業務改善研修」を開催しました。受講者からは、これまでの「現状の不便さの解消」から、今後は「お客様のビジネス成果につながる改善」へと意識や観点が変わったといった声が上がっています。



1/16 丸1日6時間かけて行った業務改善研修の様子

＜研修カリキュラム＞

1. 業務改善とは
2. 業務改善のターゲット設定
3. 現在の業務の把握
4. 業務改善のプランニング
5. 業務改善策の実行

事例紹介 生成AIを活用した取り組みが紹介記事に

ユーザーローカル社が提供する「ChatAI」サービスの導入企業事例において、当社の「生成AIを活用した業務の引き継ぎ・ナレッジ共有の取り組み」がインタビュー記事として紹介されました。生成AIを活用した業務の引き継ぎ、およびナレッジ共有について、導入に至った背景や活用のポイントなどが取り上げられています。



導入背景 「AIに代替されるのではなく、使いこなす側になる」という経営判断のもと導入を最優先事業のボトルネックとなっていた引き継ぎ業務を生成AIで解消

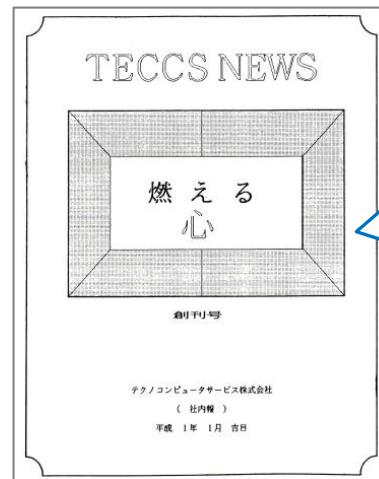
活用方法 ChatAIのRAG機能を活用し、社内の情報を集約
業務FAQや業務理解のためのセルフテストなど自社専用AI環境を構築

効果・成果 業務の引き継ぎ時間を最大90%削減
空いた時間を自己学習に充てる文化を醸成でき、育成の質が向上

ChatAIを全社展開。議事録の作成などを効率化し月間約2,000時間の業務時間削減を達成

アルファテックス株式会社
3ヶ月かかっていた引き継ぎ作業を最大90%削減し1週間に。生成AIを活用したナレッジ共有とマニュアル更新の仕組み化

カルチャー 夢・愛・感動の社内報 ALFA NEWS



創刊号 (1989年1月発行)

私は我社をみんなの力で「誇れる会社」に育てあげることができると確信している。それも一流の会社に。待遇、福利厚生、財務等々「一流」になるためにやらなければならないことが数多くある。しかし私は企業をつくるのも人、動かすのも人、と常々考えている。私自身はもとより人づくりから始めたい。それは先ず、素直な思いやりが原点と思っている。家族、両親、社員、上司、同僚、そしてお客様への思いやり、こころ配りの出来る人づくりに力をいれて行くことが当社発展の基本要件であると信じている。仕事に、遊びに熱を上げながら自らを鍛えあげようではないか、そのことが世間から認められ、自らも誇ることで出来る我社づくりの最短コースだ。

社長 石川 勝



創業して間もない1989年（平成元年）に創刊した社内報は、季節の巡りと呼応するように年4回の発行を絶やさず続けてきました。そして、最新号はなんと145号を数えるまでになりました。時には経営を語り、時には一人ひとりの活躍に光を当て、またある時は技術や業界の動向を紹介しながら、アルファのDNAをつなぎ、カルチャーを醸成する役割を担ってきました。



最新号 (2026年1月発行)